気の作用	推動作用	<ul> <li>・成長・発育および臓腑の生理活動や新陳代謝を促進する</li> <li>・常に人体内を運動し、活力を与える</li> <li>・精、血、津液などの体液を推動する</li> <li>※原気、宗気、営気、衛気、臓腑の気など全ての気に備わる働き</li> </ul>
	温煦作用	・臓腑、器官を <mark>温め、体温を一定に保つ</mark> ・気の熱によって生理機能が円滑に行われる ※ <b>衛気</b> 、原気、腎気と関係が深い
	固摂作用	・生理物質(精、気、血、津液)を <b>正常な場所に留め、排泄や流出を抑制</b> する ※営気、 <b>衛気</b> 、脾気、腎気と関係が深い
<b>11</b>	防御作用	・外邪の侵入を <b>防ぎ</b> 、体表を保護する ・外邪が侵入した場合、 <b>対抗</b> する ※ <b>衛気</b> と関係が深い
	気化作用	・生理物質の相互転化を引き起こす ・新陳代謝の過程であり、各種変化はすべて気化作用 例)飲食物から精・気・血・津液の化成や、汗・尿などの排泄物の生成を担う ※宗気、営気、衛気、脾気、肺気、腎気と関係が深い